

保管中のHIC上の水たまりについて

2015年4月3日
東京電力株式会社

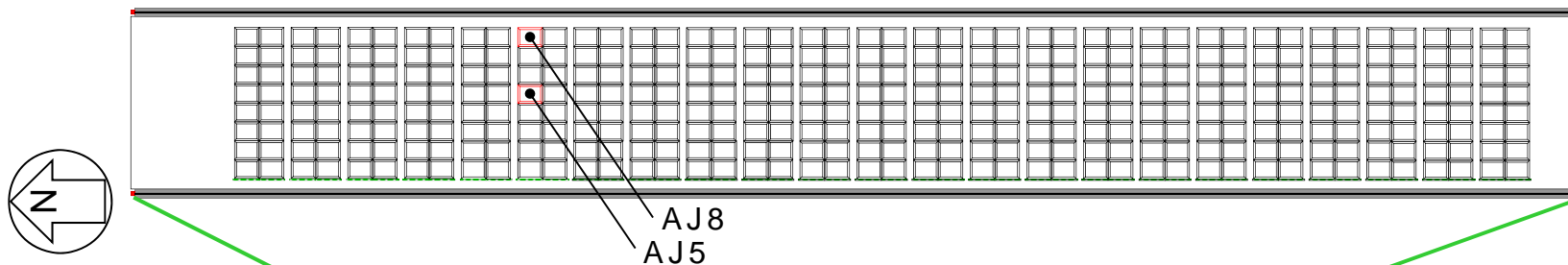


東京電力

時系列

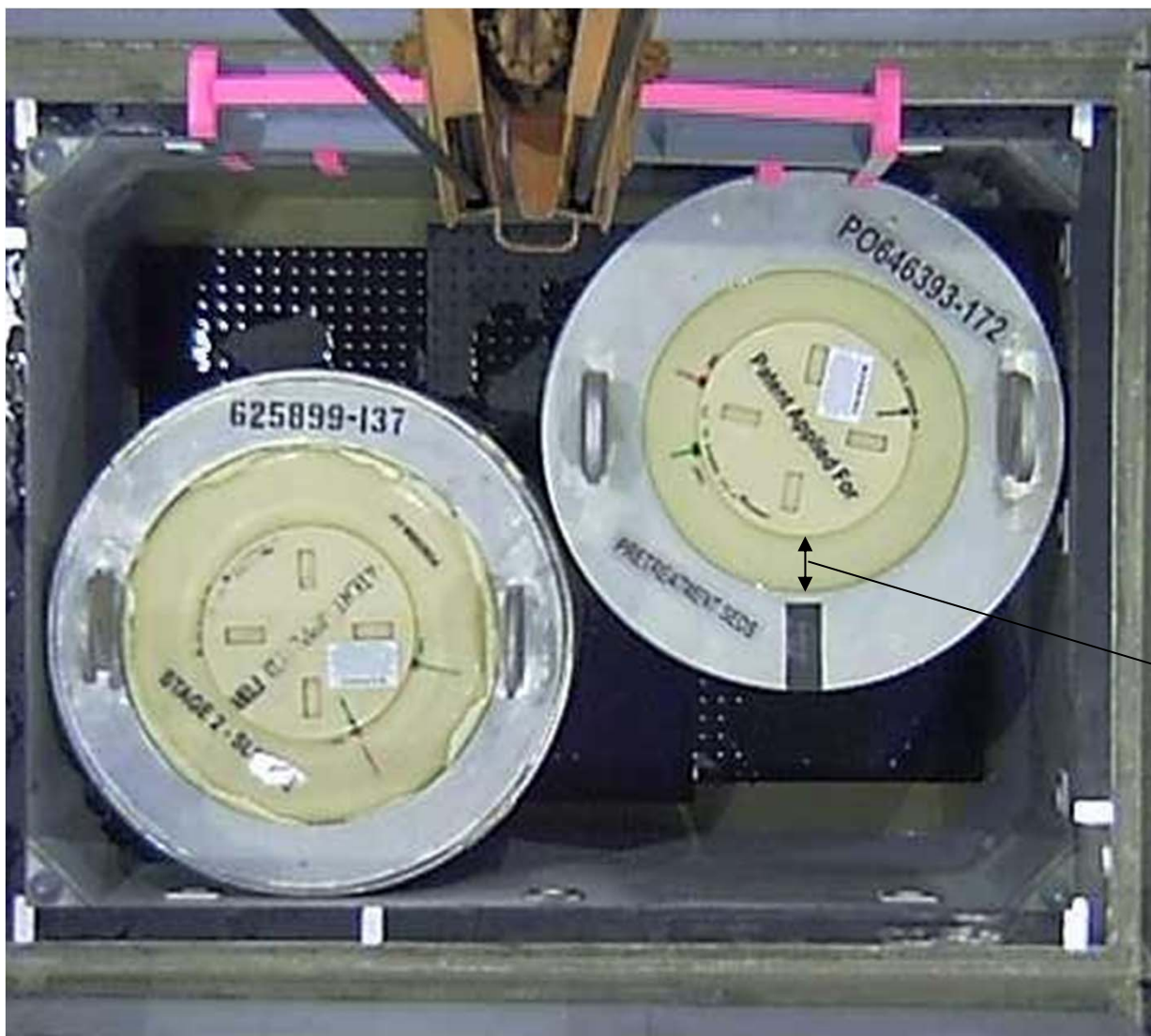
- 3月30日 協力企業はクレーンカメラにてボックスカルバートAJ5内部床面に水溜まりがあることを確認。
- 3月31日 当該部をスミヤ採取・測定した際に、目視にてHIC蓋外周部にも水溜まりがあることを確認。
当社はHIC蓋外周部からの漏えいは考えづらいこと、HIC蓋外周部の水は100kcpm超だが、ボックスカルバート内部の水は34kcpmであったことから、結露水と判断。
- 4月1日 降雨のため作業中止。
- 4月2日 HIC蓋外周部のたまり水回収作業時に、HIC蓋のベント孔から水が出てきたことを確認。
他のボックスカルバート内も確認できる範囲で点検を実施した際に、AJ8ボックスカルバート内を確認したところ、HIC蓋外周部に少量の水溜まりがあることを確認。

吸着塔一時保管施設（第二施設）



ボックスカルバートは鉄筋コンクリート造で高性能容器（HIC）2基を格納後、上部に遮へい用の鉄筋コンクリート厚蓋を配置する。

水たまりの状況

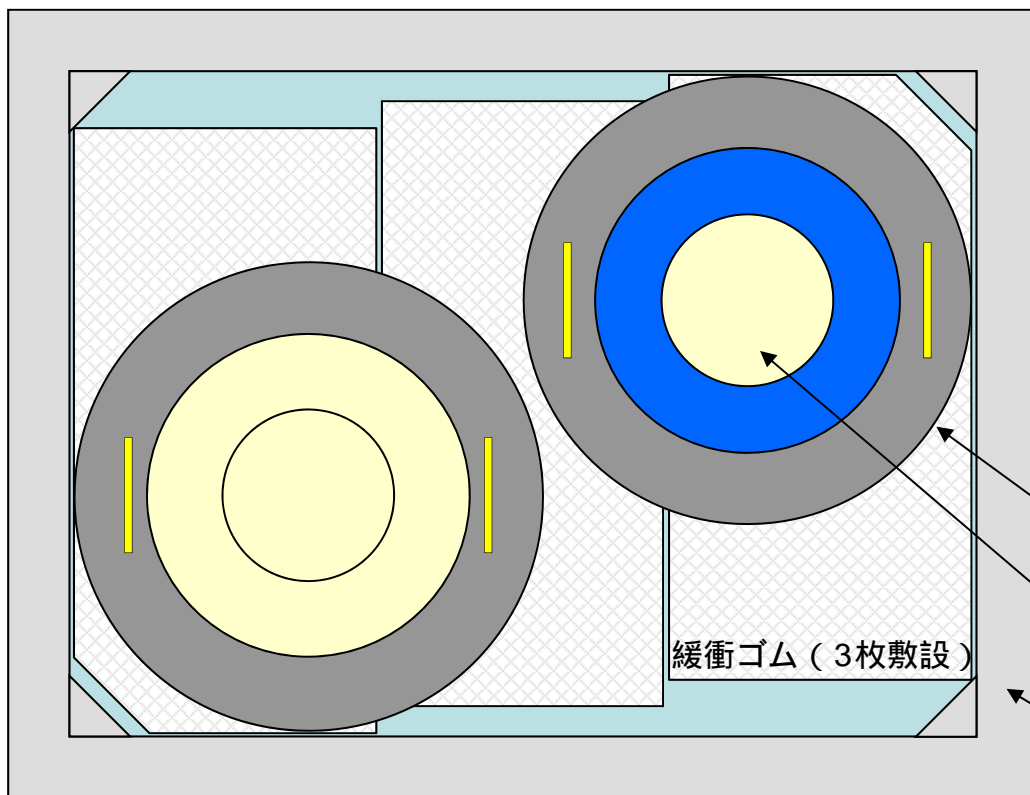


- ボックスカルバート内にHICが二基ずつ格納されている。
- ボックスカルバート底部には緩衝ゴムを設置している。
- 底部に溜まっている水の水面は緩衝ゴム面より低く留まっている。(水深は2cm未満と推定)
- 蓋の外周部(ステンレス鋼製補強体の内側)にも水たまりあり。

蓋外周部の水が存在した範囲(全周)

注：ボックスカルバートAJ5の内部状況(クレーンのカメラで撮影)。右上HICの蓋外周部のたまり水はよく映っていない。

たまり水の量



- AJ5で約25
 - HIC上 + ボックスカルバート底
- AJ8で約1
 - HIC上のみ

高性能容器 (HIC)

蓋

ボックスカルバート

緩衝ゴム (3枚敷設)



ボックスカルバート内のたまり水の量

ボックスカルバートの内法面積：6.52m²

緩衝ゴム(厚さ2cm)の面積：5.7975m²

水たまり部面積：0.7225m² (空色部)

深さ：2cm 14.45 約15

：緩衝ゴム全体が冠水していないことから保守的に仮定

HIC上のたまり水の量 (青色部)

AJ5：深さは当該部に満水と仮定

9.15 約10

AJ8：幅(径方向)2cm(目視)

0.58 約1